

8月



りすぐみ だより

令和5年8月1日

ようやく梅雨が明け、眩しい太陽の日差しと共に夏がやってきました。初めて水遊びをした時には、じっとタライを見つめ、恐る恐る水に手を入れたり、水がかかってしまうと泣いてしまう姿が見られましたが、遊びを繰り返し行なっていく事で徐々に慣れてくると手足に水をかけたり、魚の浮き玩具を手で掴んだりカップなどの玩具を使って水の入れ替え遊びをすることで、自分から触れようとするようになりました。最近では水面をバシャバシャと叩いて水しぶきを上げたり、水をかけ合っていて楽しんだりと水に親しむ姿が見られています。顔に水がかかると驚くこともありますが、自分で顔についた水を払って遊んでいます。雨に見立てたシャワーを頭から浴びると声を出して喜んだり、プールの中に座って全身で水の感触を楽しんだりしています。本格的に気温が高くなるので、子どもたちの体調に配慮しながらプール遊びやシャワーを浴びて、涼しく過ごせるようにしていきます。



○今月のねらい○

- ・保育者や友だちと一緒に夏の遊びをする。
- ・保育者と一緒に着脱をしようとする。

○今月の活動○

- ・水遊び・感触遊び(絵の具/氷/寒天/泡など)
- ・巧技台遊び・新聞紙遊び・体操・ボール遊び
- ・指先遊び・粘土遊び・お絵描きなど

～ 絵本を楽しんでいます ～

水遊び、シャワーを済ませ、給食の時間があるまでの間、お部屋で過ごしていると棚から絵本を出して保育者の所に持ってくる姿が見られるようになってきました。読みきかせを始めると、おもちゃを置いて集まり一緒に絵本を楽しんでいます。同じ絵本を繰り返し読み聞かせることがありますが、次の展開がわかって嬉しそうに声を出したり指を指したりしています。絵本に親しむ時間、友だちと一緒に楽しむ時間を大事にしていこうと思います。

おねがひ



夏の暑さは大人も子どもも体力を消耗します。お休み中はゆっくり休養を取り、子どもたちの体調をよく見ていただき元気に登園できるようにしましょう。

